



がん治療センターニュースレター

がん治療センターでは、病気の治療だけでなく、患者さんやご家族の不安・悩みを解消する心のケアなどを行っています。

最先端医療
「ダヴィンチ」



2018年4月より「ロボット支援下内視鏡手術」に肺がん、胃がん、食道がん、直腸がん、子宮がん、縦隔腫瘍、前立腺がん、腎臓がん、膀胱がんに対する、12の術式に保険適用が承認されました。

ダ・ヴィンチによる手術

～前立腺がん、腎臓がん、膀胱がん～



順天堂大学医学部
泌尿器科学講座
助教 北村 香介

ダ・ヴィンチはアメリカで開発された内視鏡手術支援ロボットです。

正確な手術、身体への負担を減らすことへの飽くなき探求よりダ・ヴィンチが開発されました。

その手術は現在、全世界へ急速に普及しています。特に泌尿器科で行っているロボット支援腹腔鏡下の前立腺切除術(Robot-assisted radical prostatectomy: RARP)は標準治療となりました。

詳しい内容は次のページをご覧ください。➡



手術方法の進化

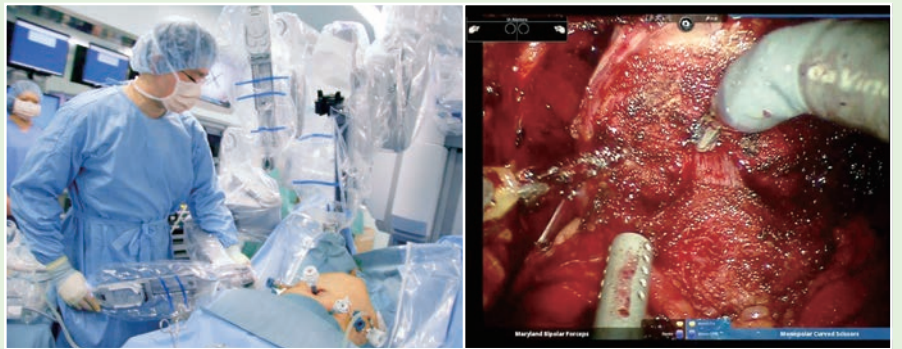


2012年4月に保険収載されて以来手術数は増加し、従来の手術方法より細やかな手術ができ、患部の出血や外傷も最小限で済むため、術後の回復が早い低侵襲手術が可能となっています(図1)。

図1 ダ・ヴィンチの写真と、実際の前立腺がん手術の風景



さらに腎臓がん、膀胱がんなどダ・ヴィンチを用いた手術手技は適応が拡大し多くの疾患へ、その手技が保険収載されるようになりました。

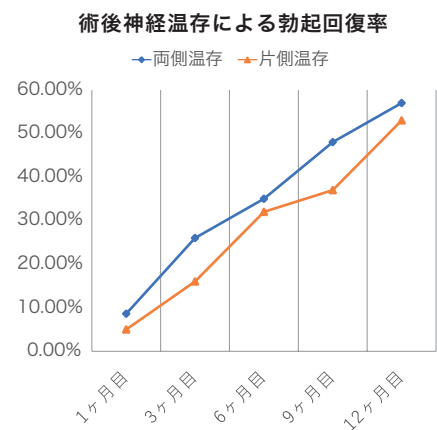
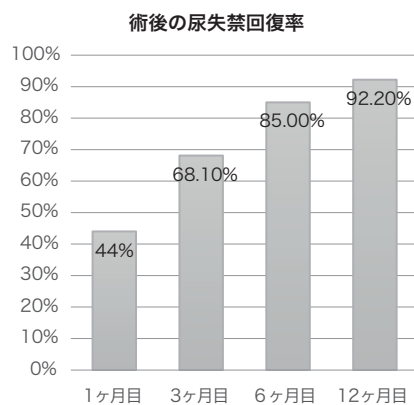


前立腺がんにおけるダ・ヴィンチ手術



前立腺がんは、検診(PSA)などの普及に伴い早期に発見されることが多くなっており、対する各治療方法も近年目覚しく進歩し充実してきています。ダ・ヴィンチの登場により、前立腺がんに対する手術は大きく進歩しました。従来の手術と比べ低侵襲な手術となっただけでなく、がん制御に加え排尿・男性機能などの機能的な術後回復についても従来の手術より良好な成績が報告されています(図2)。

図2 RARP後の順天堂医院における尿失禁と勃起機能の回復率



つまり、前立腺がんへの手術においてダ・ヴィンチにおける利点である拡大立体視野と自由度の高い鉗子により、これまでは難しかった手技が容易になり、さまざまな工夫が可能となりました(図3)。



図3 拡大視野にて手術を行っている写真



従来までは年齢やがんの危険性のみの枠組みで治療方法が選択されていましたが、現在では患者個人の前立腺形態、がんの危険性、生活スタイルなどに合わせて治療や術式を選択できるようになっています。

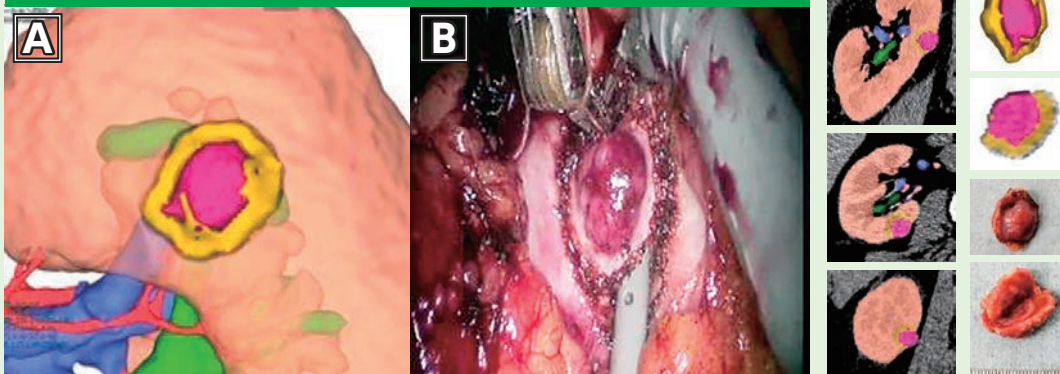
腎臓がんにおけるダ・ヴィンチ手術



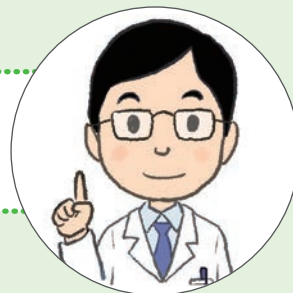
腎臓がんの手術には全摘手術と部分切除があります。腎部分切除術は、比較的小さな腎臓がんに対して行われる腫瘍の部分のみを切除し、正常の腎臓を温存する術式です。

ダ・ヴィンチを用いて手術を行うことで、身体への負担が少ない細かな手術手技が可能となります。また「三次元の立体的な画像」をモニターで見ながら臓器と腫瘍の位置関係を正確にとらえて手術することも可能であり、より安全で身体への負担が少ない手術が行えます(図4)。

図4 3D画像構築システムを用いて手術を行った際の写真



- A** 3D画像構築システムを用いたシュミレーション
- B** 実際の手術時の写真



膀胱がんにおけるダ・ヴィンチ手術



浸潤性膀胱がんにおける開腹の膀胱全摘除術は、出血量も多く手術時間も長い侵襲的な手術です。そこで、ダ・ヴィンチを用いたロボット支援手術の特徴を生かし、開放性手術よりも患者さんの負担を少なく行う手術が期待されております。

本邦でも2018年4月より保険収載される予定となっており、大きな期待がされています。

順天堂医院では以前よりこのロボット支援膀胱全摘除術を施行しており、安全に手術を施行する経験を積んでいます。



旬の食材

青葉が艶やかさを増す季節となりました。

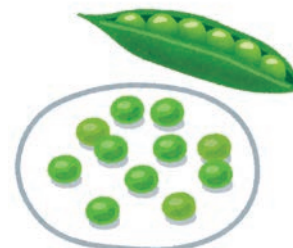
日々の献立に旬を取り入れ、季節を存分に味わいましょう。

～今回は初夏にかけて旬を迎える食材をご紹介します。～

栄養部 岩垣 由布子

グリーンピース 冷凍や缶詰で一年中出回っていますが、旬なものは味も栄養価も格別です。

たんぱく質、ビタミンB群、カリウム、リン、食物繊維などが豊富で、季節の変わり目の体調維持、疲労回復にふさわしい食材です。



あじ 「あじ」の脂にはn-3系脂肪酸であるDHA及びEPAが含まれ、これらの脂肪酸には抗炎症作用やいくつかのがんを予防する効果があると言われています。脂が乗っておいしい時期、旬を味わいましょう。



グリーフ&スノー

臨床心理士
西尾 温文

昨冬は例年になく雪が多く、雪害に見舞われた所がいくつもありました。みなさまお住まいの所はいかがだったでしょうか。2月の連休に、初めてのグリーフ&スノーに行ってきました。

死別体験後の悲嘆感情に寄り添い、見守ることをグリーフケアと言います。夏はグリーフケアキャンプ、冬は雪遊びも兼ね、グリーフ&スノーと名づけました。

グリーフ&スノーが他のスキーツアーや雪遊びと違うところは、死別体験のある子どもとその保護者が参加していることです。今回は、子どもが5人、保護者が3人、ファシリテーターが6人参加しました。

3日間の内、2日目だけは子どもたちの希望でゲレンデへ、1日目と3日目は雪遊びをしました。雪遊びは、そりをしたり、雪洞を掘ったりしました。3日目の朝に、テンとウサギの足跡を発見しました。足跡の写真がうまく撮れず、お見せできないのが残念です。



【写真1】 そり



【写真2】 雪洞

2日目の夜は、子どもたちはDog Gone Griefという亡くなった人を思い出して話しをしながら進むすごろくをしました。前号でもご紹介しましたが、すごろくにはこんな問いがあります。「あなたの本当の気持ちを共有できる人は誰?」という質問に、パパを亡くした年長さんは「パパとママ」と答えます。「大切な人のことを思い出すにおいは?」という質問もあり、「普通」と答える子がいます。「普通」ってどんなにおいなのとあえて尋ねたりはしません。

わからない時、話したくない時はパスしていいことになっています。子どもたちの話しを聞いていると、年齢にかかわらず、家族の死について話すことができ、受け止め方がそれぞれであることが分かります。話してくれることで、私たちは初めてその子の気持ちや考えを知ることができます。



【写真3・4】 すごろく

がん治療センターからのお知らせ

▶ 予約・お問い合わせ・・・03-5802-8196

(A) ミニレクチャー (要予約・定員20名)

テーマを決めて、約20分間の内容の講義を行い、質疑応答の時間を設けています。

5月19日(土)

- ① 乳がんについて
- ② 婦人科がん治療を受ける患者さんへ～日常生活での注意点～

7月21日(土)

- ① 骨腫瘍の診断と治療(仮題)
- ② がんの療養とリハビリテーション(仮題)

場所・・・順天堂医院D棟 7階

時間・・・10:00～11:30

(B) がん茶論 (要予約・定員20名)

他の患者さんの体験を聞いたり、他の家族の方からアドバイスを受けたりする場を提供しています。

5月9日(水)、6月2日(土)、7月7日(土)、9月1日(土)【8月休会】
≪5月は第1土曜日が祭日の為、平日(14:00～16:00)の開催とさせていただきます≫

場所・・・がん治療センター 1号館 3階

時間・・・10:00～12:00

(C) アピアランス講習会 (要予約・定員20名)

講習会后展示会(ウイッグ・下着)も開催いたします。お気軽に性別問わずご参加ください。

6月16日(土)、8月18日(土)

場所・・・がん治療センター 1号館 3階

時間・・・10:00～11:30

※アピアランスとは「外見」という意味です。



最寄駅からのアクセス

- JR線
「御茶ノ水」駅下車(御茶ノ水口)・・・徒歩約5分
- 東京メトロ(丸ノ内線)
「御茶ノ水」駅下車……………徒歩約5分
- 東京メトロ(千代田線)
「新御茶ノ水」駅下車(B1出口)……………徒歩約7分

質問コーナー

(第20回市民公開講座の参加者アンケートより)

Q: 子宮がん検診は、何歳まで受けた方が良いでしょう。毎年受けた方が良いですか。

A: 日本では上限はあませんが、65歳まで検査を行って異常が指摘されなければ、必要ないと考えます。2年に1回は受診してください。

● 回答者 順天堂大学医学部産婦人科学講座 先任准教授 寺尾 泰久

あとがき

来年はラグビーワールドカップ、再来年は東京オリンピックです。待合室でも、ウォーという歓声や、シーンと静まり返る場面があることでしょう。このウォー、シーンという言葉をおノマトペといいます。おノマトペは、擬音語、擬態語のことです。

子ども、大人に限らず、夜は苦手、眠れないと言う入院患者さんがいます。夜が明けると、スタッスタッ、カツカツ、ガラゴロ、アハハッ、病棟の音が患者さんを包み、今日も目覚めた、大丈夫と思えるのです。ポカポカした天気が続きますように。

臨床心理士 西尾 温文

がん治療センターニュースレター

[2018年5月 第27号] 創刊 2009年5月(年3回発行)

●発行元: 順天堂医院 がん治療センター

●住所: 東京都文京区本郷3-1-3

●電話番号 & ファクシミリ: 03-5802-8196

●Eメール: cancer@juntendo.ac.jp

●ホームページ: <http://www.juntendo.ac.jp/hospital/cancer/>

